

留萌市における地域公共交通活性化・再生総合事業(計画事業2年度目)

留萌市地域公共交通総合連携計画の目標

本連携計画において策定した基本方針に基づき、地域と生活特性に即した運行形態による移動手段の構築、待合所機能の整備とともに中心市街地と公共交通の連携体制の構築、市民へのバス利用の啓発及び情報発信ツールの整備、利用環境のバリアフリー化と冬季の利用環境の向上を目標として掲げ事業を遂行していくものとする。

留萌市地域公共交通活性化協議会開催状況

平成23年6月28日(火)

第10回留萌市地域公共交通活性化協議会を開催

< 主な協議事項 >

- ・平成22年度事業報告・決算
- ・平成23年度事業・予算(案)
小型低床バスの購入
- ・フィーダー系統確保維持事業
地域内フィーダーによる本格運行
地域内フィーダー協議会への移行

23年度総合事業計画の概要

小型低床バスの購入

平成22年度の実証運行の結果、日東団地線については運行時間・曜日によっては需要が見込めることから、平成23年10月から本格運行することに伴い、現在の交通事業者が保有する車両では、当該系統への配車が車両数上困難であり、また日東団地は狭隘な地区であるため、特に冬期間においては路上駐車や積雪等の状況により運行に支障をきたすこと、バリアフリー化に対応していないこと等を勘案し、低床バスを購入する。



1) 本格運行の概要

運行開始日	平成23年10月1日
運行ルート	便名:日東団地線 見晴町6丁目～留萌駅～留萌市立病院(往復)
運行本数	平日4便、土日祝日全休
運賃	大人210円、小人110円
運行事業者	沿岸バス(株)
その他	地域公共交通確保維持事業による本格運行

2) 本格運行の実績

平成23年10月～12月の乗車状況

	10月	11月	12月	合計
1便(7:53 上り)	121人	257人	255人	633人
2便(10:00 上り)	202人	271人	423人	896人
3便(11:30 下り)	113人	149人	188人	450人
4便(15:40 下り)	53人	164人	255人	472人
合計	489人	841人	1,121人	2,451人
1便平均乗車数	6.1人	10.5人	13.3人	10.0人

3) 本格運行の効果

冬期に入り乗車数は大幅に伸びている。
第2便の乗車数が多く、通勤・通学よりも、通院、
買物での利用がなされていると思われる。

4) 今後の課題

雪解け後(4月以降)の乗車数の維持。
下り線の利用促進に向けた取り組みの検討。

自己評価のポイント

- ・平成22年度の実証運行結果を踏まえ、地域の事情に即したバス路線の整備・構築を図るため、小型バスを購入し、当該バス車両を専ら地域公共交通確保維持改善事業を活用した系統である日東団地線において使用することとした。
- ・日東団地線の本格運行及び小型バスの購入については、協議会での合意を基本として関係者の理解が得られており、地域の実質的な合意が形成されている。

二次評価のポイント

- ・自己評価のとおり。
- ・地域関係者合意のもと、必要な交通体系が構築され、併せてハード面の整備が行われた。日東団地地区の道幅が狭い地形や高齢者の利用を考慮した小型バスの導入は評価できる。